

輝き



令和5年度 第10号

<令和6年2月1日発行>

江戸川区立南葛西中学校

校長 日野 志磨子

自分ができることを考え行動する

1月1日の能登半島地震から1か月が過ぎました。今回は大地震と厳冬が重なり、避難所での困難な生活が連日報道されています。

3学期の始業式では「このような大きな災害が起き、つらい気持ちでいるみなさんがたくさんいると思うが、被災された方々を思う気持ちを忘れずに、その中で今、中学生の自分ができることを考えて毎日生活してほしい。」と伝えました。

そして、生徒たちは日々の学校生活をしっかり送っています。1月に行われた避難訓練でも地震の避難警報が鳴ると机の下に頭部を入れたり、姿勢を低くして安全確保をしたり素早く行動していました。学校では毎月1回の避難訓練が教育課程で義務付けられています。火災、地震、洪水、津波、不審者侵入など様々なリスクを想定して訓練します。生徒たちはいつも真面目に訓練していますが、今回は「昼休みに大きな地震が起こったら」という設定でしたので、各自で身を守る行動をとっていました。この地域も地震や火災が起きた時、決して安全な場所ではないと生徒たちがわかっているからでしょう。

12月には、本校で役所の方々、地域の代表の方々が参加する避難所開設訓練が行われました。いざという時、南葛西中は地域の避難所になります。備蓄倉庫の中を見たり、非常用水栓の開け方を確認したりしました。

多分、大きな災害で南葛西中が避難所になるような場合、地元の中学生は大きな力になります。「みなさんは地域の宝物」と生徒たちには常々伝えています。安心、安全な学校を目指すことはもちろんですし、大きな災害に見舞われることがないように願っていますが、いざという時には「自分の命を守る。」、次に「自分ができることを考え行動する。」を心に留めてほしいと思います。

日	曜	行事予定
1	木	校外学習前日指導(1)
2	金	校外学習(1)、都立推薦発表
3	土	科学教育センター閉室式
4	日	
5	月	朝礼、安全指導、ドリルパーク学習週間始
6	火	
7	水	区中研
8	木	校外学習前日指導(2)
9	金	校外学習(2)、ドリルパーク学習週間終
10	土	
11	日	
12	月	建国記念の日
13	火	
14	水	小中連携の日
15	木	作品展準備
16	金	学校公開始、作品展
17	土	学校公開終、作品展 新入生保護者説明会、新入生説明会
18	日	
19	月	作品展片付け
20	火	
21	水	都立入試日、給食運営委員会、 学校保健委員会
22	木	
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	第4回定期考査
27	火	第4回定期考査
28	水	第4回定期考査、避難訓練、専門委員会
29	木	実力テスト(1)(2)

2月の生活目標

健康で安全な生活環境を整え、
日常生活を過ごすようにしよう。



～ふれあい面接について（3年生）～

1月11日から2日間、3年生はふれあい面接を行いました。地域の方々に面接官として、受験を目前に控えた3年生の面接の練習をしていただきました。これまで3年生は、副担任や管理職との面接練習の中で、入退室時の作法、面接中の姿勢などの練習をしてきました。しかし、外部の方と面接を行うのは初めてのことで、やや緊張した面持ちで待っていました。いざ、面接が始まると、自分の長所や短所、将来の夢、高校でやりたいことなどを堂々と答えていました。これまでの練習を生かして準備したことを、しっかりと発揮することができていました。終わった後は、どこか自信に満ちた表情をしていました。改めて、南葛西中学校の生徒としての自覚と誇りを感じました。

終わった後、面接官の方からも、やはり南中の生徒さんはしっかりしている、たくさん練習してきたのがわかるとお褒めの言葉をいただきました。地域の皆さまの支えによって、南葛西中学校は充実した教育活動ができております。ご協力くださりありがとうございました。

3年生の中には、すでに受験が始まっており面接を終えた生徒もいます。受験が終わっていても、他の生徒とともに切磋琢磨していきましょう。また、地域の方々、保護者の方々の協力がある今の自分がいることを忘れてはいけません。そして、最後まであきらめずその努力を貫くことが、周りの方々への恩返しの一つとなります。近くで応援してくれている人に日々感謝し、残りの学校生活を過ごしてください。



第3学年副担任 皆川 裕希

～百人一首大会について（1、2年生）～

19日（金）に、1、2年生で百人一首大会を行いました。1年生は、2～3人でチームを作り、対戦する団体戦を行いました。小学校で百人一首を行ったことがある生徒もあり、仲間同士で覚え方のコツや取り方のコツなどを教え合いながら国語の授業内で練習に取り組みました。本番では、学年の先生が札を読む声に合わせて仲間同士で喜ぶ声や、励まし合う声が聞こえました。勝ったチームも負けたチームも、楽しそうに対戦していたのが印象的でした。また、百人一首大会は学校公開日として保護者の方にもご参観いただくことができました。多くの保護者の方々の温かい眼差しの中で、生徒たちものびのびと札を取っていたように思います。ありがとうございました。（1年担当：山尾 麻衣）



2年生は昨年の経験もあり、生徒自身が大会を楽しみにしていました。練習時から今年は個人戦であることを伝え、生徒自身が札を覚えようと奮闘したり、昼休みにはクラス内で模擬競技をしたりして、お互いに力を高めあってきました。1年時には下の句を聞いて札を探していた生徒たちでしたが、2年時の授業では上の句五音の後に10秒以内で探すというルールで取り組むこともありました。1人では札を見付けられないときもありましたが、同じ班のメンバー同士で下の句を読み上げて手助けする人もいるなど、クラス全体で反応速度を上げていく様子が感じられました。

大会当日にはいつも以上に集中し、読み上げられる札を聞く姿勢が見られました。枚数が減っていくほど、どの畳でも真剣さが増し、上の句が読まれた瞬間に手を伸ばす生徒もいました。競技だけでなく、全員が片付けまで協力しあい、上級生らしい姿を見せてくれたことが嬉しかったです。

ご参観くださった保護者の皆様、短時間ではありましたが、生徒の取り組みを見守ってくださり、ありがとうございました。（2年担当：井上 郁恵）